

防災訓練にみんなで参加しよう!! 11月17日(日)10時久木小学校で開催

大震災に備えた防災訓練を本年度も11月17日(日)10時～12時久木小学校で実施します。

訓練に参加して、普段から防災意識を持つことが、災害が発生したときに役に立ちます。下記の内容の多くの訓練に参加していただき、いつ起きるか解らない災害に備えましょう。

●逗子市防災訓練

- 1、 災害時 Web アンケート訓練（回答期間 9時～11時 体育館・自宅等）
- 2、 地域と地区防災拠点の情報連携訓練（10時～12時 体育館・地域）

●避難所運営訓練（注意：体育館は上履き持参のこと）

- 1、 避難所開設訓練（受付は9時45分開始～12時 体育館前）
- 2、 パーテーション組立設置訓練（10時～12時 体育館）
- 3、 発電機・投光器設置訓練（10時～12時 校舎裏側）
- 4、 マンホールトイレ設置訓練（10時～12時 校舎裏側）

●自主防災組織・自治会訓練（各地域）

- 1、 安否確認訓練（9時～10時 各自主防災組織）
- 2、 情報連携訓練（10時～12時 体育館と各自主防災組織）
- 3、 Web アンケート情報入力訓練（10時～11時 体育館）
- 4、 家庭内防災品展示（10時～12時 体育館）

●寸劇で知る困りごと解決コーナー

- 1、 避難所の困りごと（10時45分～12時 体育館）
- 2、 在宅避難時の困りごと（10時45分～12時 体育館）
- 3、 住民+地区防災拠点+災害ボランティアセンター情報連携訓練
（10時45分～12時 体育館）

久木小学校区避難所準備委員会

逗子市経営企画部防災安全課

令和 6 年 10 月度役員会

開催日時と場所：2024年10月5日（土）

13時00分～14時50分、久木会館

出席者：20名

議題

(1) 行政からの連絡事項

①逗子市デジタル推進課業務内容説明

2021年4月に発足したデジタル推進課のより、デジタル化に関する国の動向、逗子市DX推進ビジョン、取組の方向性について説明があった。また、スマホの使い方などに悩んでいる人向けに、個人指導ベースで相談会を開催していることが紹介された。説明終了後、下記のような意見が出された。

- ・デジタル弱者に対する考慮、見落としのないように推進する事が必要である。
- ・セキュリティの問題から、DX推進に不安な人も多い、その点をいかに解決していくのか、方針立てて推進する必要がある。

(2) 審議事項

①11月の防災訓練/避難所準備体験訓練の件

・防災無線に関しては、手配済みで、業者より請求書が送付され、各自治会の支払いは、ほぼ済んでいる。それにともない無線局の申請をする予定だが、約一か月かかるとのことである。また、11月上旬に業者を呼んで、無線機の使用方法につき講習会を開催する予定であることが報告された。

・防災訓練に先立ち、久木連合町内会で10/26に防災フェアが開催されることが報告された。

・龍村氏より、11月17日に実施される防災訓練の概要が紹介された。

会場は久木小学校体育館と久木会館とする。

例年と大きく異なる点は、Webアンケート内容を被災1週間後の想定とし、情報分析とその繋ぎ先（災害ボランティアセンターなど）との連携訓練を取り入れることなどである。

但し、無線機の情報連携訓練の方法など、決定していない項目も多々あるので、10/17の避難所準備委員会で協議する予定であるとの説明があった。

(3) 減災部会報告

9/28に地域防災拠点のリーダーとなる堀田氏と共に、久木地区の防災街歩きをしたことが報告された。

(4) 住民協ひろばの特別号の件

「地域サロン活動」を特集するにあたり、瓶子氏より、現時点での進捗状況について報告された。

・防災関連のDX化として、内閣府から「クラウド型被災者支援システム」の導入が勧誘されており、導入経費に掛かる交付金支給は令和7年までとなっている。本件どう対処するのか、防災安全課と協議して、逗子市としての防災DXの方向性をしっかりと見極めてもらいたい。

みんなの逗子さんぽの件

堀田氏より、市制70周年記念事業としてアプリを使用したウォーキング推進活動について説明があった。

②西部包括支援センターの人員の件

堀田氏より、10月に社会福祉士1名採用が決定し、残る欠員は1名となったことが説明された。

大久保印刷からは11/4までにデータを渡せば、11/20には納品可能との確認をしたことが報告された。レイアウト、ページ立てについても提案があり、全会一致で承認された。

また冒頭言（石井氏）、サロン活動に関する言葉を地域担当リーダー（堀田氏）と社協に、部会報告を各部会長依頼するが、締め切りは10/20とすることが確認された。

(5) 中間会計報告の件

会計より、配布資料⑤を基に、令和6年度上半期予算執行状況につき説明があった。

⑤ その他

a) 拡大朝市の件について

11月23日に拡大朝市を開催するが、会場は晴天なら校庭で、雨天の場合、体育館と久木会館を使用する予定。また詳細については今後詰めていくとの説明があった。

b) 久木会館の設備故障の件

トイレが1か所使えない件は市が修理を手配。エアコン故障の件は費用が掛かる為、会館の引っ越しを勘案し、扇風機とスポットクーラーで対処せよとの市の方針。また、時計の故障については、会館で簡易的なものを準備するよう要請されたとの報告があった。

c) 久木会館の取引銀行変更の件

利便性の観点から、会館の取引銀行を「みずほ銀行」から「神奈川信金」に切り替える手続きを実施していることが報告された。

d) 久木会館に設置された大型テレビの利用料の徴収などを配慮する為、所有権を持つのはどこな

のか、市民協働課に確認することになった。

《レポート》

ギグワーカー・働きやすく（8月14日付日経新聞より）

・・・働き方改革との関わり

インターネットを介しての仕事の取引が増えていきます。その一つがギグワーカーで、雇用主と雇用契約を結ばずに業務委託契約で働くフリーランス（自己の持つ専門知識・技術で独立して仕事を請け負う個人）の一種で、インターネット上のプラットフォームを介して単発の仕事を請け合う働き手を言います。手近で見られる例がウーバーというプラットフォームを介したウーバーイーツで、レストランからの委託による料理宅配便の運び手があり、そのほかにWEBの記事やイラスト作成・運転や配達、家事の代行・翻訳等が挙げられています。出前館という料理宅配サービスのプラットフォームも、一部の配達員はギグワーカーです。

ギグワーカーは、労働市場の人手不足や多様な働き方が求められている時代背景とデジタル化による情報通信技術の発達が相まって、時代が生んだ新しい仕事のあり方と言え、活用する側には採用コストを省いて迅速に仕事が始められる利点があり、ギグワーカー側には己のスキルを活かして自由に働ける利点があり、欧米を中心に急速に広がりを見せています。

普及すると共に色々な問題が生じ始めています。それはギグワーカーは、法的には労働者ではなく個人事業主とみなされており、労働諸法の傘の下に入っていないことによりです。ギグワーカーの法的な位置づけは表のとおりです。

8月14日付日経新聞の一面に、「ギグワーカー・働きやすく、賃金・休日、基準明確に」という表題の記事が掲載されました。

ギグワーカーが先行して進んでいる欧米では法的な対応が進んでおり、EUでは、24年にギグワーカーを労働者として保護する指令案を採択し、一定条件で企業に労働者と同等の待遇を義務づけました。

日本でもギグワーカーをその労働実態を踏まえて、労働者として保護する指針作りが始まったということです。その内容は、ギグワーカーの仕事の自由度と労働者としての最低賃金や有給休

暇の取得の関係を明確にしようとする指針です。↑仕事の内容によって企業の指揮監督下にある度合いを示す。↑AIやアルゴリズム（問題解決の手順）が配達のルートなど業務指示を出す場合でも企業による指揮監督とみなす。↑逆に仕事の依頼や許諾について自由があれば個人事業主とみなす。↑その度合いにより最低賃金や休日の基準を明確にして待遇面のトラブルを少なくする狙いです。

2019年、政府は「1億総活躍社会」の実現を目指して、「働き方改革」を推進し始めました。厚労省の定義によれば「働き方改革とは、働く人々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で選択できるようにするための改革」とされています。1億総活躍社会とは「50年後も人口

法律上の労働者		ギグワーカー
雇用	契約	業務委託
給与	支払い	報酬
あり	有給残業代	なし
企業と折半	健康保険料	自己負担
必ず加入	労災保険	11月から任意加入
企業の指揮監督下	働き方	自分の裁量

1億人を維持し、職場・家庭・地域で誰しも活躍できる社会」をいいます。その背景は、人口減少とそれに伴う急激な人手不足、長時間労働への批判、生活環境と働き方の多様化が揚げられています。

ギグワーカーは、働き方改革で示された「柔軟な働き方を自分で選択できるように」とよく一致しているように見え、多分、今後その範囲をどんどん広げていくことが予想されるが、一方では労働環境や待遇面での懸念が指摘されており、また人と人とのつながりを希薄にする働き方とも考えられます。

私が第一線で働いていた1980年前後に、フ

リーターなる新しい仕事の在り方が生まれました。好景気を背景に特定の企業に拘束されることがなく、柔軟・自由な立場で働こうということで、当時の風潮としては「斬新」ととらえられ、ポジティブな立場でした。ところがバブル崩壊で一転して、やむを得ずフリーターにというネガティブ

に変わり、今の大量の低所得の非正規労働者の出現となりました。

ギグワーカーが、使い捨ての労働者とならないように正常な発展を期待します。

(鈴木 為之 山の根在住)

《寄稿》

鬼ばばはいるけど鬼じじいはいない、なぜ

2024.5.21 駄洒落栖人

面白い話をした。友達と酒を酌み交わしながら。なんで鬼ババは、いるのに鬼ジジイはいないのか、についてである。

そうしたらこれとも言えるかなあ、「エロ爺はいるけど、エロ婆はいない」。だったらもう一つ、「瘤取り爺さんは、いるけど瘤取り婆さんはいない」ということに広がった。

では本論の「鬼ババは、いるのに鬼ジジイはいないのか」について。それは舌切り雀の話を切り出して説明してくれた。

舌きり雀の雀は、若い女性を表しているんだな。それにおじいさんが毎日、お米をやる。毎日毎日、寵愛を示す。これにお婆さんは怒って、雀の舌を

切ってしまった。鬼ババあになっていた、という深層心理学的な分析。そういう風に見て考えると「桃太郎」は、養子をとって育て、未来の若者を育てる話に。この反対のように取れるけど、「かぐや姫」はやはり育てて、自分の国に帰っていく自立して。そんな日常的な暮らし方、生き方が見えてきて面白い。だから、大人が回顧して教訓話、子どもに語りつき、語り継がれてきたのか。さてとあなたはどんな昔話を語り継ぎますか。もう、語り継いでいませんね。時代の価値観が変わっていきますから…。

(細野 裕、校区住民協 監事)

編集後記

2024年のノーベル賞受賞者の発表がメディアで報道されている。素人の私でも興味深いのはAI関連の受賞対象が多い事である。ノーベル賞選考委員会によれば米国ワシントン大学デビ

ット・ベーカー教授とグーグル系の英国企業デミス・ハサビスCEOと研究者のジョン・ジャンパー氏の3名のノーベル化学賞の受賞が決まった。ベーカー教授はAI・CPを使ってタンパク質を構成する20種類のアミノ酸から他のタンパク質とは異なる新たなタンパク質を設計する事に成功した。タンパク質はホルモンやシグナル物質等として機能し、生命はタンパク質が無ければ存在できない。このタンパク質の構造を予測し、独自のタンパク質が設計出来る様になる事は治療法、治療薬の開発に寄与し人類にとっても大きな利益となる事が評価された。ハサビスCEOとジャンパー氏は、タンパク質の詳細な構造を予測するという50年来の難題を解決するAIモデルを開発した。このAIモデルは現在は190ヶ国、200万人以上がこの恩恵を受けているト云う。何れもAIを活用する事による成果であり、同年度のノーベル物理学賞もAIの基礎理論に貢献した研究者が受賞するという。

今回強く感じることはAIの影響力が年々大きくなって行く一方で、人間に依る倫理や感性等によるAIのコントロールが適切且つ早急に行う必要があるのではと、ある種の恐ろしさを感じる次第である。

事務局長 石井 達郎

拡大朝市のお知らせ

日時：11月23日・午前

場所：久木小学校校庭

雨天の際は体育館・久木会館